

令和5(2023)年度第3回水工学委員会および幹事会 議事録

日時：令和6年3月6日(水) 13:00～14:00

場所：オンライン (Zoom)

出席者 (出席者は□囲みで表示)

中川一(顧問), 寶馨(顧問), 道奥康治(顧問), 中北英一(顧問), 清水康行(顧問), 清水義彦(顧問), 泉典洋, 佐山敬洋, 小田僚子, 矢野真一郎, 溝口敦子, 高橋正行, 椿涼太, 風間聡, 入江政安, 竹林洋史, 大石哲, 手計太一, 森脇亮, 中山恵介, 田端幸輔, 音田慎一郎, 川村里見, 山田朋人, 岩崎理樹, 梅田信, 川越清樹, 二瓶泰雄, 鼎信次郎, 田中規夫, 宮本仁志, 芳村圭, 平林由希子, 石川博基, 瀬崎智之, 柿沼太貴, 佐藤隆宏, 陰山健太郎, 荒木千博, 渡邊武志, 中村要介, 岡村誠司, 戸田祐嗣, 谷口健司, 武田誠, 市川温, 川池健司, 小林健一郎, 田中賢治, 山上路生, 山口弘誠, 赤松良久, 内田龍彦, 高橋直己, 杉原裕司, 重枝未玲

(40/50名)

大槻順朗(オブザーバ), 五十里洋行(オブザーバ), 深見和彦(オブザーバ), 呉修一(オブザーバ), 那須珠実(土木学会事務局)

記録者：佐山敬洋

(以上、敬称略)

0. 泉委員長挨拶

- ・議事に先立ち、泉委員長より挨拶があった。

《協議事項》

1. R5年度水工学講演会各賞受賞について (編集幹事長) 協議資料1 ※一部画面表示
  - ・原案通り、各賞の受賞者が決定された。委員会HPにて後日公表。
2. 特集号(水工学)投稿要領の一部改正について (編集幹事長) 協議資料2
  - ・協議資料2に基づいて説明があり、原案通り承認された。
    11. 公表された論文の訂正について、「刊行後」の部分を「講演資料集として刊行後」と明示する。
3. R6年度水工学講演会について (富山, 呉先生) 協議資料3
  - ・R6年度年水工学講演会の準備状況について説明があった。

事務局や部会用の部屋も確保しており、今後、不要な部屋はキャンセルを進める。

160～180万円の会場費用を想定している。
  - ・関連して幹事長よりR5年度年水工学講演会の収支見込について説明があった。
4. その他
  - ・特に無し。

《報告事項》

1. 土木学会ISO対応特別委員会報告(深見委員) 資料1
  - ・資料に基づいて水文観測分野(ISO/TC113)の活動状況に関する報告があった。

2024年4月にTC113定期国際会議が開催されるため、2月に国内検討委員会を開催し対処方針を定めた。

水位・流量観測に加えて TC113 の枠組みで土砂輸送や地下水の分科会も開催されている。  
水工学委員会関係者の積極的な参加を求める。

2. R6 年度水シンポについて (R6.10/31, 11/1, 長野、幹事長)

資料 2

- ・ R6 年 10 月 31 日、11 月 1 日に長野市で開催する。
- ・ メインテーマは、「治水 ONE NAGANO ～令和元年東日本台風から 5 年 未来に向けて私たちが学んだこと～」を予定しており、流域治水に関連する長野県での取り組みを発信する。

3. R7 年度水工学講演会について (川越委員・幹事長代理説明)

資料 3

- ・ 会場の候補として、郡山公会堂、福島テルサを検討している。

4. その他

- ・ 河川災害シンポジウムを開催する (竹林委員)

4 月 10 日、ハイブリッド (会場は土木学会講堂)。建築学会との連携をテーマに議論する。

- ・ 河川観測高度化シンポジウムを開催する (手計委員)。

4 月 6 日、中央大学後楽園キャンパス。応募者多数のため、参加希望者は早めに連絡を。

- ・ 第 24 回水工学オンライン連続講演会を開催する (武田委員)。

3 月 12 日、講演者は江頭進治先生：「密度流・土石流・掃流砂・浮遊砂研究における課題と展望」。

以上